

◇ 学校の沿革 ◇

明治	7. 9	高禅寺を利用して八川小学校を開設	平成	3. 4	文部省指定 指導形態の多様化研究協力校 (全国7小学校)
	12. 3	第13番学区となる		4. 8	鉄筋校舎外装改修
	14. 4	島根県63番学区となる(中学区廃止)		4. 10	発達科学研究教育奨励賞受賞
	15. 4	大慶庵を利用して大谷支校を設置 室原に民家を借りて八川支校を設置		5. 9	鉄筋校舎改修完工
	15. 5	本校を「下横田小学校」と改称		6. 6	町営プール改修
	17. 2	大谷支校を「下横田小学校大谷分教場」と改称		7. 4	文部省指定 体力づくり推進校
	18. 4	第4番学区「仁多郡下横田小学校」と改称		7. 7	屋内運動場屋根改修
	20. 9	第6番学区「下横田尋常小学校」と改称 簡易小学校開校(修業年限3年)		9. 10	文部省指定 体力づくり推進校研究発表会
	25. 7	「八川村尋常小学校」となり簡易小学校廃止		10. 11	日本学校体育研究連合会表彰
	31. 4	新築校舎落成		12. 10	第41回島根県教育研究大会(仁多大会) 会場校として授業公開(国語)
	33. 4	高等科併置「八川尋常高等小学校」と改称		13. 6	読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
	35. 9	三森原分教場を開設		15. 5	ホームページ開設 図工室棟増築
	41. 7	三森原尋常小学校を分教場に指定		15. 10	八川ホッケースポーツ少年団 文部科学大臣表彰
大正	13.	本校に小学校設置満50年となり用地を拡張		16. 3	特別教室棟、多目的ホール改築竣工 屋内運動場ステージ幕新調
昭和	3. 10	校舎増築、講堂竣工			開校130周年記念式
	16. 4	「八川村国民学校」と改称		16. 5	樹木等移植、校庭拡張整備(150mトラック) 「地域と子どもをつなぐ八川文庫」設立
	22. 4	学制改革により「八川村立八川小学校」と改称		17. 3	合併に伴う町名変更により 「奥出雲町立八川小学校」と改称
	23. 5	父母と教師の会(現PTA)発足		19. 4	特別支援学級新設(ひまわり学級)
	32. 9	町村合併により「斐上町立八川小学校」と改称		23. 4	3・4年が複式学級となる
	33. 11	町名変更により「横田町立八川小学校」と改称		27. 10	第56回島根県教育研究大会(仁多会場) 会場校として授業公開(理科)
	37. 3	講堂移築		28. 3	屋内運動場改築
	38. 11	校舎(明治43建築)、雨天体操場等解体		29. 3	教室棟改築
	39. 7	鉄筋3階建校舎(12教室)、管理棟改築		29. 4	教室棟、屋内運動場竣工式 特別支援学級新設(あおぞら学級)
	39. 9	三森原分校廃止		30. 10	第41回仁多郡教育研究大会 会場校として授業公開(算数)
	43. 7	校庭、池 改修		31. 4	特別支援学級新設(たんぼぼ学級)
	46. 3	非常階段完工			
	48. 11	開校100年記念式			
	49. 3	校庭に総合遊具設置			
	50. 7	町営プール竣工			
	56. 3	屋内運動場竣工			
	58. 10	1・2・3階に便所竣工			
	61. 7	図工室改修			

◇ 校区の概要 ◇

八川の地名は、島根、鳥取、広島の県境に位置することから、今は「三国山(みくにやま)」と呼ばれる室原山(むろはらやま)に源を発し、八つの支流を集めて斐伊川と合流する室原川に沿って地区が広がったことが由来となっている。校区内を南北に流れる室原川(下横田川)と、広島県につながる国道314号、JR木次線に沿って校区がある。国内最大規模の二重ループ橋「おろちループ」、JR木次線を走るトロッコ列車とスイッチバック、坂根の延命水、スキーと高原野菜の三井野原、古く鉄師頭取の文化を伝える絲原記念館など、校区内には多くの名所がある。また、蕎麦や米の品質は県内有数である。これら豊かな自然と文化環境を生かした教育活動を展開している。

◇ シンボルツリーのダイチョウ ◇

校庭の真ん中に心地よい木陰を作ってくれます。

